

2009 年度 教師教育研究所活動報告

早稲田大学教師教育研究所は、プロジェクト研究所の共同研究制度を最大限に活かすべく、早稲田大学専任教員を中心メンバーに据えつつ、公立・私立、また、初等・中等・高等教育の教育現場で教職に従事する現役教員や教員 OB 等 50 名を超えるメンバーで研究、実践活動を進めている。2009 年度は以下の活動に取り組んだ。

1 教師教育研究フォーラムを 4 回開催した。講演やシンポジウム等、教育の課題を学内外から講師を招いて深めた。（開催場所は早稲田大学国際会議場 第三会議室）

日 時 2009 年 5 月 16 日（土）

講 演 鈴木恒夫（元文部科学大臣、前衆議院議員）

演 題 これからの教師に求めるもの—日本の教育再生のために—

日 時 2009 年 8 月 1 日（土）13：00～17：00

テーマ 「いじめ、学力低下、学級崩壊から力のある学級・学校の創造へ」

講 師 藤田 英典 氏（国際基督教大学）

内藤 朝男氏（明治大学）

菊地 栄治氏（早稲田大学）

日 時 2009 年 11 月 21 日（土）13：00～17：00

テーマ 「21 世紀の教員養成——現状と課題——」

講 師 王 智新 氏（聖トマス大学）

金 陽昇 氏（朝鮮大学校）

今井 重孝 氏（青山学院大学）

日 時 2010 年 1 月 23 日（土）13：00-16：30

テーマ 優れた教員をどのようにして養成できるか
——教職大学院はそれを担えるか

講 師 宮崎 猛 氏（創価大学教職大学院）

中田 正弘 氏（帝京大学教職大学院）

三尾 忠男 氏（早稲田大学）

2 スモールフォーラム

教育の今を考え深めていく課題について講師を招いて講演会を開催した。

日 時 2009 年 6 月 20 日（土）14：00～17：00

場 所 早稲田大学 22 号館 203 教室

講 師 草薙 厚子氏（フリージャーナリスト、作家）

テーマ 子どもの事件取材から見えるもの

3 紀要「教師教育研究」の発行

研究所の活動と研究成果の発表を紀要「教師教育研究」として発行した。

研究論文には査読を設けるとともに海外からの投稿も認め 3 本の外国からの論文を掲載した。

創刊号（第 1 号） 2009 年 3 月発行（800 部）

- ・巻頭言 研究論文、教師教育研究フォーラム等
- ・研究所構成員、研究所規約、研究所の活動等

4 研究部会の開催

研究所の構成員が研究成果を発表する研究部会 4 回開催した。

第 1 回 2009 年 9 月 26 日（土）

「フランスの教育事情」近藤庄一氏（研究所所長）

第 2 回 2009 年 10 月 17 日（土）

「学級の『荒れ』に向き合い学級創造へ」安達昇氏（客員研究員）

第 3 回 2009 年 11 月 7 日（土）

「教職大学院の現状と課題」魚山秀介氏（客員研究員）

第 4 回 2009 年 12 月 12 日（土）

「『遊牧民ゲーム』から地理を学ぶ」生田清人氏（客員研究員）

5 授業研究の開催

新しい試みとして授業研究会を開催した。子どもの学びを深める授業をめざして近藤所長が小学 6 年生に算数の授業をした。そのときの様子は 3 月 20 日付毎日新聞に掲載された。

日 時 2010 年 3 月 3 日（水）1 時 35 分より 4 時 30 分

授業学級 横浜市立下田小学校 6 年 4 組

テ ー マ 「今、『授業』を問う」

——根源的な子どもの学びをめざして——」

授業「三角形の内角の和は 180° といえるか」

授 業 者 近藤庄一氏（早稲田大学教育・総合科学院教授）

6 研究所の広報活動

研究所の活動を発信していくために広報に力を入れた。

一つは研究所のパンフレットの作成である。2 種類の A3 判二つ折りのパンフレットを 3500 部作成し、学内や教育稲門会等で配布した。

二つめは研究所ホーム・ページ（HP）である。研究所の紹介、取組、行事案内などをHPを通して伝えるようにした。

○早稲田大学教師教育研究所 HP：<http://www.waseda.jp/prj-kyoshikyoiku/>